

●世田谷区政や日本共産党へのご意見をお寄せ下さい。



新しくできた世田谷図書館(旧都税事務所)前

あけましておめでとございます  
日本共産党は、誰もが安心して暮らせる世田谷にするために、保坂区長と力をあわせ、がんばります。

日本共産党世田谷区議団

## 長年の願いが実現!

# 精神障害者 手帳 1 級の方に 福祉手当が支給へ

区内には、都立松沢病院や昭和大学付属烏山病院等の大小の精神科病院、クリニックがあり、こころの病を抱え、地域で暮らしている方がたくさんいます。そのため仕事が出来ない方も多くいます。

区は、知的・身体障害者、難病患者等を対象に「心身障害者福祉手当」を支給していますが、精神障害者の方は対象になっていませんでした。

これまで当事者やご家族から、「精神障害者にも手当を支給してほしい」と切実な声が寄せられ、区議会にも陳情が出されてきました。昨年10月、区議会福祉保健常任委員会で、家族会から出された手当支給を求める請願が全会一致で趣旨採択。その後の区議会予算特別委員会で、江口区議は自身の精神科での看護師経験を交え、区に支給の決断を求めました。

こうした取り組みが実現し、今年4月から精神障害者保健福祉手帳1級の方に、月額5千円の手当てが実施される方向となりました。長年の当事者・ご家族また関係者の運動の大きな成果です。

## 家族会からの喜びの声

昨年4月1日より、障害者差別禁止法が発令。実は精神障害の分野は受けられるサービス(手当、その他)が他の障害者の方に比べきわめて少なく、「今年こそは請願を!」と区内3か所の家族会が力を合わせて「区独自の心身障害者福祉手当を精神障害者にも支給してほしい」の請願を区議会へ提出しました。

各党派議員の皆様全員のご理解のもと、10月18日区議会で趣旨採択され、今年4月より障害者手帳1級の人に月5千円支給が決定される見込みとなりました。まだ手帳を申請されていない方はぜひ手続きをして、受けられるサービスを知ってください。

私たちは今後「2級の人にも支給を!」に頑張ります。

NPO 法人さくら会  
粕谷 嘉子



江口じゅん子

## 区は「保育の質」を更に高める取り組みを！

昨年23区の保育所で、子どもの死亡事故や運営する社会福祉法人の補助金不適正受給事件が数件起きる等、保育の質が問われる事件が起きています。世田谷区でこのようなことがあってはなりません。私は区に、保育の質を守るためのチェック・指導・立ち入り調査等の実効性について質しました。区は「量的拡大と質の充実をともに実現し、安心して子育てができる環境整備を全力で進めていく」と答弁しました。

## 思春期からの精神障害の早期発見・支援を

こころの病気の代表的疾患である、統合失調症は約100人に1人が罹患するとされ、初回発症は10～20代に集中しています。この世代の精神障害の早期発見・支援の充実を求めました。区は「梅が丘拠点区複合棟に整備する新保健センターの相談機能の中で、関係所管とも連携を図り検討していく」と答弁しました。



桜井みのる

## 世田谷清掃工場のガス化溶融炉は廃止せよ

ダイオキシン漏れが頻繁に起こり停止している、世田谷清掃工場の今後の対策を検討する「委員会」の報告書が出されました。報告書ではガス化溶融炉を引き続き使用するとしています。

区長は「ガス化溶融炉から他の方式への換装、取り換えを前向きに検討すべき」と意見を表明したと他党派に答弁しました。日本共産党は、この間の経過から見ても、一刻も早いガス化溶融炉の廃止が必要と求めました。

## 下馬に地域密着型特養ホームなど整備

下馬の財務省跡地活用に地域密着型特養ホームなどが整備されることになりました。平成30年4月に開設予定です。地域密着型特養ホームは現在区内3カ所で計画中です。日本共産党はすべての地区で整備するよう求めています。



たかじょう訓子

## 芦花小学校の児童数増加による教室不足に早急に対応せよ

芦花小学校の児童数は、この5年で約300人増えており、2年後の推計では180人増で1000人を超えます。特別教室を普通教室に転用しても教室が足りない状況になってしまいます。私は、芦花小を早急に増築するなど、改善を求めました。また烏山地域全体で児童数が増加しており、新たな学校を作る事を含め検討するよう求めました。区は、烏山地域の学校の大規模校対策について、「着実に取り組んでいく」と答弁しました。

## 烏山の交通不便地域、一日も早い解消を

世田谷区公共交通不便地域対策調査・検討委員会は中間まとめを今年5月に出す予定です。私は、北烏山、給田、上祖師谷地域の皆さんの、交通の便が悪い買い物などで困っている実情を訴え、一日も早い交通不便地域解消のため、コミュニティバスなどの導入や既存のバス路線の増便を求めました。



中里光夫

## 若者支援の取り組み、必要な人に届くよう知らせよ

区内の引きこもりは約4,400人と推計されていますが、区は引きこもりなど、生きづらさを抱えた若者の支援を行っています。「メルクマール世田谷」「青少年交流センター」などは、相談、安心できる居場所、自立へ向けた職場体験などの活動を行っています。しかし、まだ支援の手は十分届いていません。区民へこうした取り組みを紹介し、支援につなげるよう求めました。

## 司書を配置した学校図書館の活用支援を

現在、区立小中学校12校の学校図書館に司書が配置され、年間を通じていつでも開いている図書館が実現しました。今後3年間で全小中学校に司書が配置されます。授業との連携など学校図書館の活用が進むように、教育委員会が学校を指導・援助できるよう専門の体制を作るよう求めました。



村田義則

## 小規模多機能型居宅介護の宿泊サービスをもっと利用しやすく

デイホームと訪問介護、宿泊サービスを一体に提供する介護保険のサービスが小規模多機能型居宅介護です。特に、宿泊サービスは在宅介護の負担を軽減するために有効なサービスです。区内に10ヶ所が開設していますが、一刻も早い全区域での整備、一泊3000円から7000円もする宿泊サービスの利用料の軽減を求めました。

## 高すぎる国保料…都と区が力をあわせ軽減を

国民健康保険はこれまで区が運営主体でしたが、2018年度から東京都と区がいっしょに運営することになります。この期をとらえ、都と区が力をあわせ高すぎる保険料の軽減、子どもの保険料の均等割の減免などに取り組むよう求めました。区は都に強く要望すると答弁しました。

## 国保料の子どもの均等割保険料の軽減を

都議会第4回定例会の代表質問で、国保料の子どもの均等割保険料の軽減を求めました。

国民健康保険料は、現在23区では年収200万円の夫婦と子どもの世帯で約19万円と重い負担となっています。収入のない子どもまで含めて世帯ひとりひとりに均等割保険料がかかるため、子どもが多いほど負担となり、少子化対策や子どもの貧困対策に逆行することを指摘しました。子どもの均等割軽減は全国知事会も国に求めています。都としても負担軽減の支援を行うよう求めました。



里吉ゆみ

## 保坂区政 2 期目

# 災害対策・福祉施策の 確実な前進を！

## 代表質問をした江口じゅん子区議に聞く



### 区政の最重要課題 災害対策の更なる強化を

Q 第 4 回定例会が終わりましたね。今議会での大きなテーマは何だったのでしょうか。

A 保坂区政 2 期目の折り返しの年です。代表質問では、あと 2 年の任期のなかで区政の最重要課題であり、区民の期待の大きい災害対策を更に前進させることを求めました。

Q 11 月 22 日には、福島等で震度 5 弱の地震が起き、東日本大震災を思い出しました。災害はいつ起きるかわかりませんし、十分な対策、備えが必要ですね。

A その通りです。区は東日本大震災後、災害対策総点検、それを踏まえた新しい地域防災計画の策定、地区単位での防災塾等、区民の参加と協働を大切に、取り組みを進めてきています。

更に区議団は、災害対策の根幹として、6 万戸の未耐震住宅の解決のための予算増額、区の体制強化を求めました。また、住宅耐震化に至らなくても、緊急対策として耐震シェルター・感震ブレーカー・家具転倒防止器具の 3 点セットを普及すること、更に現在策定中の地域防災計画に車中泊対策を盛り込むこと等を求めました。

### 子育て支援・福祉施策

#### …世田谷版ネウボラ、地域包括ケアの地区展開について

Q 今年 7 月から、世田谷版ネウボラ、地域包括ケアの地区展開が始まりました。

A 区民の切実な子育て・福祉の願いにこたえる取り組みを大きく前進させることが必要です。

世田谷版ネウボラは、5 支所の健康づくり課に設置。母子手帳を受け取った母親は、保健師・助産師による「妊娠期面接」を受け、1 万円の子育て利用券を受け取れます。妊娠早期から専門職とつながることで、産後うつ等産前・産後の問題の早期発見・予防が期待されます。

また、27 のまちづくりセンターに、あんしんすこやかセン

ター、社協（社会福祉協議会）が入り、広く区民が福祉の相談ができる「地域包括ケアの地区展開」も始まりました。

Q しかし、区民・議会からは「区民に知られていない」「必要とする専門職が不足している」等課題が指摘されています。

A 私達もそれを認識しており、代表質問では今後どう解決していくのか、特に要である現場の保健師の増員を求めました。区は「来年度、保健師など専門職の増員を行う」と答弁しました。

#### 新年度予算で、就学援助の中学校入学準備金の増額を

Q 子どもの貧困は大きな社会問題です。区議団はそれに対し、どのような提案を行っていますか。

A この間、区議団は就学援助の充実・改善を求め続け、2017 年からは中学校入学準備金が 3 月に支給されることになりました。

更に、その増額が必要です。現在、中学校入学準備金は 26,780 円の支給ですが、実際はその 2～3 倍かかります。保護者からは増額を求める大きな声が寄せられています。

国も実態との乖離を認め、金額引き上げを検討しています。区に来年三月からの増額を求めたところ、区は「課題であると認識しており、検討を進めていく」と答弁しました。

#### 代表質問で、

#### 「わが党も共に区政を前進させるべく努力」と表明

Q 区民の切実な願いが着実に前進していることを実感します。区議会では、区議団の役割が重要になっていると聞きます。

A 先の区長選において、わが党は保坂区長を支援しました。2 期目の保坂区政は、自民党型区政の後戻りではなく、福祉・くらし優先の区政の更なる前進を願う区民と野党の共同により誕生しました。

代表質問では「わが党も共に区政を前進させるべく、努力してまいります。」と表明しました。

今年も区民の皆様と力を合わせて頑張ります。

## 自衛隊の新任務付与による PKO 派遣

## 区長は「平和国家の姿勢が問われかねない事態」と表明

安倍政権は、南スーダン PKO に派遣している自衛隊への「駆け付け警護」「宿营地共同防護」の新任務付与を閣議決定し、昨年 11 月には陸上自衛隊が派遣されました。日本共産党は、閣議決定と今回の命令の撤回を強く求めています。区長に見解を問うたところ「日本が国際社会において平和国家の姿勢が問われかねない事態があってはなりません」と表明しました。

駅が遠い

バスが通らない

# 住民の「足」

「交通不便地域」に

# の確保を

「コミュニティバス」って聞いたことがありますか。近くに駅やバスの停留所がなく買い物や病院などに行くのも大変という地域に、住民の足を確保するために自治体が補助金を出したりして運行するバスのことです。利用者が増え補助金なしで運行している路線もあります。世田谷区でも玉川地域の「たまりパー・バス」や祖師谷・成城地域の「くるりんバス」など、住民と区が力をあわせてバス事業者に働きかけて実現させてきました。しかし広い世田谷、交通不便地域はまだあります。日本共産党は、地域の足の確保に住民のみなさんと力をあわせています。



1月から、等々力〜梅ヶ丘間のバスが運行します。

**数十年の悲願、一刻も早く** 桜上水2丁目、水道辻付近の住民です。「桜上水駅から千歳船橋駅までミニバスが走る」という話が持ち上がってから数十年、未だに実現していません。

80歳のAさんは有隣病院への通院を諦め、高齢者は近くのヨークマートを頼りに生活しています。遠出する際はバスで経堂駅に出ます。途中で急坂があり高齢者にはキツイので、桜上水は近くて遠い駅になりました。自転車を諦め歩行者器を利用する高齢者は、切り捨てられている？！

影山 美子

## たまりパーバス 住民運動で実現！増便も！

「交通不便な玉堤から大井町沿線にバスを」と運動が始まったのは89年。「病気になるとう救急車呼ぶんですよ」、署名のなかでお年寄りからこんな切実な声もありました。

町内会もいっしょになって、足かけ10年の運動が実り99年に夢の路線が開通しました。当初、赤字が解消しなければ運行中止と言われましたが、利用者も増えました。

今では、雨の日には乗り切れないほどになり、そこで増便を求める署名運動を起こしました。その結果バスの台数も増え、増便も実現できました。

遠山 中夫

**1日も早く、交通不便地域の解消を** 烏山地域には3つもの交通不便地域があります。北烏山地域、給田地域、上祖師谷地域の3つです。過去にもバス会社と交渉するなどの取組がありましたが、ここ数年は、住民有志によるコミュニティバス問題検討委員会を設けて検討を行い、昨年と今年の2回、世田谷区の交通政策課との懇談を行いました。今後、交通不便地域の住民の方々にアンケート調査に取り組む予定です。住民参加による「コミュニティバスを走らせる会」（仮称）を正式に立ち上げて、交通が不便な状況を1日も早く解消できるよう頑張りたい。

遠矢 駿一郎



祖師ヶ谷大蔵駅北口のウルトラマン商店街を走る、くるりんバス

## アンケートで76%がミニバス運行を切望！

砧・大蔵交通不便地域解消を考える会

「祖師ヶ谷大蔵駅周辺に買い物や通院に行きたいが、自転車や歩きが厳しくなった。」との切実な声が多数聞かれました。そこで、約千枚のアンケートを各戸に配布し、380人の方から回答をいただきました。76%の方がミニバス運行を切望、140人を超える方から意見が寄せられました。「砧・大蔵交通不便地域解消を考える会」として区の交通政策課及び区長に住民の要求を伝え、住民の方々への報告会を開き、意見交換を図っています。

2017年  
新年の抱負を  
漢字一文字で  
表しました。

**実** みなさまの願いが実りますように！  
**進** 暮らし、福祉第一の区政を推進します  
**繋** 政治を変えていこうというこの時、多くの皆さんと繋がっていきたいです  
**共** 市民と野党の共同、日本共産党の躍進で新しい政治を開きましょう  
**拓** 新しい時代を拓く年に！！

江口じゅん子  
桜井みのる  
たかじょう訓子  
中里光夫  
村田義則